

一寸先は闇の安倍政権 ―総裁選、改憲、野党再編などの行方

ノンフィクション作家、評論家

塩田 潮

- *ご都合主義の選挙法改正
- *安倍政権の一寸先は闇
- *長期政権の賞味期限
- *「亥年の凶」の参院選
- *とにかく勝てる党首を
- *憲法改正に行き着けるか
- *手詰まりの野党陣営
- *「一丸の会」の役割
- *マニフェスト回帰を
- *野心と欲望の闘争



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

いろいろな騒ぎがありました政界もここところ静かになってまいりました。どうしてパタツと静かになったのかよくわかりませんが、ほつとしている方も多いかも知れません。ただ、今日は「一寸先は闇」という話ですので、静かになった政治の世界で今何が動いているのか、来年にかけてどういうことが起こるのか、その辺りをおなじみの塩田さんに説明をいただきたいと考えております。それでは塩田さんよろしくお願いいたします。（拍手）

ご都合主義の選挙法改正

塩田 去年は7月14日にお招きいただきましたが、小池さんが都知事選挙でいい成績を上げて

日の出の勢いというときでした。そのときに私は年内の解散総選挙の確率は6割以上と申し上げたそうです。これがずばり当たりまして、去年10月に解散総選挙が行われ、ご承知のような結果になったわけです。安倍さんは選挙では連勝に続く連勝で、今年の2月まではひよつとすると戦後最強の政権ではないかと言われるぐらいの力を誇っていたわけです。けれども、3月に疑惑が噴き出して雲行きが変わってまいりました。支持率が急落いたします。

4月の朝日新聞の世論調査によると、31%まで内閣支持率が下がりました。国会は引き続き6月20日会期末まで行われ、32日間の延長で7月22日まで国会が続くということになっていきます。延長になった国会では三つの大きな法案が